

2023.6.15 (木)
第 44 回例会
(通算3713回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第 2500 地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「ブームからカルチャーへ ひがし北海道のアウトドアライフ」(プログラム委員会)
次週例会	「1年間を振り返って(三役・四大委員長)」(理事会)

- ロータリーソング：我等の生業 ■ソングリーダー：吉田 英一君
- 会員数 101 名
- ビジター なし
- ゲスト 株式会社三ツ輪商会ツーリズム課 課長 酒井 大輔様

会長の時間 滝越 康雄会長

今日は全然時間がございませんので、お食事をされていると思いますが会長挨拶をさせていただきます。先般、2週間前の6月1日に会長ノミニーの再選のための告示をさせていただきましたが、立候補受付の締め切りは今日です。6月15日のこの時点において立候補予定の方はお見えになりませんでしたので、暫時、規定に従いまして釧路ロータリークラブ細則第3条第1節で指名委員会をさせていただきたいと思っております。

選考委員会が近日中に開かれますので、その中で適任の方に会長ノミニーをお願いさせていただくことになると思います。よろしくお願いいたします。

もうひとつ、驚きのニュースなのですが、清水会長ノミニーがいま病気で回復途上ですが、全く接点がなく面会謝絶だったので、どうしたものかなと推測ばかりしていました。

この前の日曜日、6月11日12時01分に私の携帯が鳴りまして、清水輝彦会長ノミニーの奥さまからの携帯でした。そして、話をつないで、清水輝彦会長ノミニーご自身と会話することができました。非常に驚いた次第ですが、数分間、お父様が亡くなられましたので、その関係のお話を主に申し出がございました。

話の全般の流れとして、話の組み方、フレームは全く問題なく、葬儀の細かいいろいろな関係ですが、そういう面での配慮とかは全然問題がなく、さすがお医者

さんであるなど、医療の底力を感じました。ただ、あれと思ったのは3~4人の名前の1人が出てこなくて、私たちの「年配者の度忘れ」程度の問題で、これから社会復帰が十分になされてくると、会話が成り立っておられるということだけご報告いたします。現状は失語症という症状ですが、年寄りの「あれ、あれ、あれ」くらいのレベルまで回復しております。いつの日かまた当会場に出席の運びとなると思います。その時は、皆さん気づかって歓迎してあげていただきたいと思っております。以上が報告事項です。

ロータリーの活動として第7分区の最終の会長・幹事会が先週、阿寒湖畔で開かれました。盛り上がった会を恥かきながら私の持ち歌・ダンシングヒーローで盛り上げてきました。報告といたします。以上です。

新入会員 スポンサー 吉田 秀俊君



皆さん、こんにちは。本日、入会されました牧田知也さんをご紹介します。

スポンサーは栗林延次さんと私なのですが、先日、栗林さんから「吉田、おまえがやれ」と命

を受けましたので私が代表して紹介させていただきます。

牧田さんは織田支店長の後任の北洋銀行釧路中央支店の執行役員支店長として過日、着任しております。

お生まれは昭和41年9月17日です。今年56歳となっております。ご家族は奥さまとご子息が1人の3人家族なのですが、今回は奥さまとご子息が札幌に残られていますので、単身赴任としての着任になっています。趣味は麻雀はしませんがゴルフはされます。特にアウトドア全般に興味があるということです。在任中に東北海道の大自然を満喫していただければと思っています。それから「お酒の方は嫌いではない」と微妙なニュアンスなのですが、お酒が好きな方には十分付き合うものと思っています。どうか素敵なお店を紹介していただければと思っています。

また、人柄については前任の織田支店長からお墨付きをいただいています。私も2～3度お会いしましたが大変好感の持てる方ですので、ぜひ仲良くしてやっていただきたいと思います。

当地、釧路に勤務されるのは初めてですし、ロータリーに入会されるのも初めてですので、1日も早く馴染めるよう皆様のご協力お願いしましてご紹介とさせていただきます。

では、よろしくお願ひいたします。

北洋銀行釧路中央支店・鳥取支店支店長

執行役員 牧田 知也様



ただ今、ご紹介いただきました北洋銀行の牧田と申します。よろしくお願ひいたします。歴史と伝統あるこの釧路ロータリークラブのお仲間に入れていただけること、大変光栄に思っております。

今、ご紹介いただきましたけど、釧路の勤務は初めてでございます。まだまだ不慣れな点がたくさんありますけれど、諸先輩の皆さまにいろいろ教えていただいで勉強しながら一生懸命頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

スポンサー 西村 智久君



本日、入会の田坂涉さんのご紹介をさせていただきます。昨日までは尾越さんが紹介するということで、僕は今日初めて資料を見ていま

す。細かいことはご本人に聞いていただきたいと思います。

年齢はよく分からない雰囲気ですが、50歳とまだまだ若いです。奥さまと二人暮らしで、お子さんはおいでにならないということです。精神的には子どものような心を持っている支店長らしいので可愛がっていただきたいと思ひます。

ゴルフはハンディ30ですので、ほぼ初心者ということだと思います。ロータリーには「ナユタの会」がありますので研鑽を積んで上手くなっていただきたいと思ひます。

前任地も釧路東支店ですので釧路のことは熟知している方だと思います。酒のことはまだ聞いておりませんが、飲めそうな雰囲気がします。皆さん、大いに誘っていただいで楽しく。

歴代支店長はあまり出席率あまり良くないので、ぜひとも田坂支店長には日銀の二宮支店長のように毎回出て来るような優良会員になっていただきたいと思ひます。

それではどうぞお願ひします。

大地みらい信用金庫 釧路支店 田坂 涉様



ただいま、ご紹介いただきました大地みらい信金釧路支店の田坂でございます。本日は西村様が紹介者ということでご加入させていただきました。本当にありがとうございます。

先ほど、オリエンテーションの中で昭和11年からこの釧路ロータリーが発足されているということで、八十有余年の歴史あるロータリーに加入させていただいたこと誠に光栄に思っております。

今、西村様からお話ありましたとおひ、いろんな面で初心者でありますので、その中では皆さまにご迷惑おかけする部分がたくさんあるかと思ひます。見た目では、ちょっと太っていて髪もなくて、ということですが、逆に愛嬌があるのかなと自分でも思っております。今回の会長方針でもある熱意というところで、熱量をもって自分の消費カロリーを上げながら参加させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、ありがとうございます。

歓迎の言葉 滝越 康夫会長

私の年度が始まってからもう何人となくお迎えして、歓迎の言葉を言っています。ご覧のとおり盾を忘れたり、なにかとトチリが多いのです。今日、濱口さんがアクシデントでいないので、舞台上に5人の理

事のうち2人ですよ。手不足で本当に申し訳ございません。
ともあれ、私の在任も残り日数で15日です。私の年度ではわずかな日数で、例会はあと2回しかありません。若き後藤新体制の下でのご活躍を祈っています。よろしく願いいたします。
最初は、ロータリーのことをあまり分からなくて夢中に行くことが味噌で、先ほど言っていた熱意をもって、長く在席をお願いしたいと思えます。歓迎の言葉とさせていただきます。
不慣れでごめんなさい。委員会はこっちに欲しいのですが親睦委員会で2週間よろしく面倒見てください。よろしくどうぞ。
どうもありがとうございました。

退会者のご挨拶 釧路信用組合 小西 卓哉君



釧路信用組合の小西です。先ほどから金融機関の人間ばかりが壇上に上がっていて申し訳ないと思ひながら、お話しさせてもらいます。

入会のある中で私は退会させていただくことになりました。杉村会長年度の8月に入会させていただき、約2年弱になります。正直、やっと「馴染んだか感」があった中での退会となります。本当に2年間、お世話になりました。ありがとうございました。

退会者のご挨拶 日本銀行釧路支店 二宮 拓人君



日本銀行の二宮です。この度、19日付けの発令で東京の本店に戻ることになりまして、非常に寂しいのですが退会させていただくことになりました。

ちょうど1年8カ月の短い期間でしたけれども、皆さま方に非常にお世話になり、親しく接していただいて素晴らしいロータリークラブ生活が送れたなと思っています。
入りました時は釧路財界のお歴々の皆さまがいらっしゃるところで正直、どこのテーブルに座ったらいいかも分からなくて、最初はハードルが高いなと思ったのですが、当時の杉村会長が「ロータリーへの参加というのは、義務ではなく権利である」と仰っていたのが何故かすごく心に刺さりまして、権利ならばせいぜい使い倒してやろうと思って、出張で当地にいないときには別にして、いる時は必ず参加しようと思って参

加をさせていただきました。最初の頃は、マスクをしていましたのでロータリーソングも歌えずに、マスクしていることをいいことにモゴモゴ言っているふりをしていたような気もしています。
不思議なことにロータリーソングもいつの間にか何となく歌えるようになっていて、ようやくロータリークラブが栄光なものなのかなと少し分かりかけたところで、異動で大変残念でございますが、退会させていただくこととなります。
新しい異動先は東京の本店になります。ロータリーはこれで退会させていただくこととなりますが、こちらでいただいたご縁は退会に関わらず今後もつながっていけば大変ありがたいなと思っています。東京にお越しの際はお気軽に声を掛けていただいたらいろんなことができると思っています。お声をお掛けいただけましたら幸いです。
本当に1年8カ月、どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ 「ブームからカルチャーへ ひがし北海道のアウトドアライフ」

プログラム委員会 小野寺 俊副委員長



皆さん、こんにちは。今年度、プログラム委員会の最後の担当例会となります。よろしく願いいたします。

本日、講師を務められますのは、先ほどご紹介ありました三ツ輪商會様のツーリズムビジネス課・課長の酒井大輔様です。MOOの1階のEHAB(イーハブ)というお店でキャンプ用品などのアウトドアグッズ販売と屈斜路湖にあります和琴湖畔キャンプフィールドの運営責任者をされております。

酒井さんは、仕事も私生活も常にアウトドアライフを楽しまれておりまして、ご自宅の部屋の中までもキャンプグッズで埋め尽くすほどの他共認めるキャンプ好きでございます。

本日はここ最近のキャンプブームが一過性に終わるのか、またまた東北北海道の魅力を存分に生かしたカルチャーへ昇華するのか、そんな話を聞かれると思ひます。最後までよろしく願いいたします。
それでは、酒井様、よろしく願いいたします。

株式会社三ツ輪商会ツーリズムビジネス課

課長 酒井 大輔様

ただいま、ご紹介に与りました三ツ輪商会の酒井と申します。この度はこのような場を与えていただき大変ありがたく思っています。ありがとうございます。



このような場で登壇して喋る機会があまりないため、ものすごく緊張しております。おそらく声が震えたり、足が震えたりするくらい緊張していますので拙い資料とともにではありますが、楽しんでお聞きいただければと思います。よろしく願います。

それでは、さっそくですが本日の流れとして、この次に自己紹介と「アウトドアブームとカルチャーへ」について、目次の流れで進めさせていただければと思います。

皆さまの方で一番気になっておられるかと思われる「三ツ輪商会のアウトドアのビジネスが儲かっているのか」というところも少しお話をさせていただければと思います。

また、資料に添付の写真などは、私が個人的に趣味で、携帯カメラで撮った写真です。私のアウトドアライフとして一緒に楽しんでいただければと思います。よろしく願います。

改めまして、名前は酒井大輔と申します。1980年生まれで43歳になります。現在はご紹介いただいたとおり、三ツ輪商会の企画事業本部企画営業部の次長として、あと、アグリビジネス課の課長兼今回のお題をいただいていますツーリズムデザイン課の課長に拝命されております。今も実務として営業を担当させていただいております。機械設備や部品の営業などアグリビジネス課としては各酪農家さん向けの飼料・餌の卸販売などを担当させていただいております。

本日のお題であるツーリズムデザイン課として、一昨年にフィッシャーマンズワープの1階にアウトドアショップをオープンさせていただきました。昨年の5月からは、弟子屈の和琴半島でキャンプ事業を継承して、その立ち上げと運営を私が行わせていただいております。現在、管理だけではなくて実務があるので非常に多忙な生活を送っております。

そんなこともありまして、趣味を充実させなければ精神的に持たないのではないかとということで、先ほどご紹介の時にお話がありまして、部屋の中までもアウトドアのギアを飾って、あと趣味が読書とお酒を飲むことなので部屋の中を書斎兼キャンプ場兼バーミタに飾り立てて、ひとりで読書しながら飲むのが趣味です。それこそ、「アウトドア＝外」というかも

しませんが、家の中でもこうして一人で楽しんでいるマニアな男です。

では、本題に入らせていただきます。私は昔からアウトドアがとても大好きで、会社に就職してからもずっとアウトドアをビジネスにできないかと漠然と考えておりました。8年ほど前に東京支店にいたのですが、釧路で育つと、庭の前ですぐバーベキューができます。自然が身近な所にあるので、いろんな所に出かけて、アウトドアに触れる機会がとても大きかったので、東京支店のころにそれをなんとか趣味としてもビジネスにできないかなと漠然と考えていましたがなかなか形にすることができませんでした。

東京支店から戻り、機械設備課という機械の部門に入ったのですが、また同じく漠然と考えていただけでした。次から次へと新しい仕事で、アグリビジネスの立ち上げに入らせていただいて少し落ち着いたころ、当社の社長の栗林から「観光業に進出したい」という話が私の耳に聞こえてくる状態がありました。

元々私は、新規事業やそういうビジネスを考えるのが好きでしたので、私の中では、観光業に進出したいというのはチャンスではないかと飛びついた次第です。当社の社長・栗林が「アウトドア」という意味ではなくて、「観光業」と言われたところがやっぱり社長としてすごいなと私は今でも思っております。観光業へのビジネス展開は何だろうと思うと、宿泊だったり、交通だったり、食の分野であったり、観光って何だろうと思うぐらいにたくさんのビジネスがあることを深く考えさせられました。その中で、どうやったらこの趣味であるアウトドアにつなげられるだろうと考えました。

道東の観光というと、食はもう文化として成り立っていると考えました。考えた中で趣味のアウトドアを前面に押し出して、観光とつなげられないだろうか、今回、アウトドアとくっつけて事業を会社に提案させていただきました。せっかく釧路に戻ってきて、生まれも育ちも釧路でしたので、この魅力をたくさんの人に伝えられて、しかも趣味を仕事にして自分で楽しめて、また仕事も地域自体も楽しいものにできたらいいなということで会社に提案させていただきました。私の趣味だったのがビジネスとしてはどうなのだろう。これは会社に新規事業提案として提案した時に説明させていただいた資料です。

私が生まれたころに「第1次キャンプブーム」となっていたと言われております。大きな要因としてはバブル景気を経て、人々が経済的に少し豊かになり、車が一家に一台があったり、また「コールマン」というアウトドアブランドが海外からどんどん流入してきたのがひとつの要因になっていると聞いております。私も小さいころには家族に連れられてよくキャンプに行った思い出もありました。

この第1次ブームなのですが、ブームが去った理由としては、急激な立ち上げがあったのでキャンプ場の整備不足とマナーの浸透不足です。バブル崩壊による



景気の悪化があり、パソコンやネットなどインドアで楽しむ競合する娯楽の登場が大きかったのかな、そして今、私がブームに乗かって

考えると、キャンプに対する多様性がなかったと考えております。

ブームからカルチャーへという所です。現在は、3年ほど前から「第2次キャンプブーム」と呼ばれたりもしております。日本オートキャンプ協会のデータなのですが、2019年時点でキャンプ人口が860万人まで伸びてきています。大きな要因としては、私もそうですが、第1次ブームの際に連れて行っていたキャンパーの子どもたちが、いま大人になって、家族を持って、楽しかった思い出のキャンプにもう一度舞い戻っているのだそうです。

また、この時代ですので、テレビとかSNSがブームの火付けになっております。昔ですと、ひとりでキャンプに行くなんて多分「変人だ」扱いで、「友だちがいない奴だ」と思われていたりすると思うのです。今では、お聞きかもしれないですが芸人の「ヒロシ」だったり、いろんな方がSNSやYouTubeでキャンプを一人で楽しむことが流行ったりしています。その敷居がどんどん下がっている中で、珍しいことに、女子でも「一人で行きたい」という層が増えてきて、こういうブームがすごく盛り上がっているのです。

私も、いま撮っている写真もそうなのですが、こういうものをSNSで見て、やっぱり広がりが増えていることがあります。また、道具も昔のキャンプ道具からどんどん進化しています。メーカーもかなり多くのメーカーが参入して、キャンプ道具を販売したりしてより便利なもの、よりコンパクトなもの、あとは見栄えの良いものがたくさん出てくるようになりました。見栄えの良いものが出てくると女性の層もどんどん増えてきます。あとは一人で行く方が増えたり、釣りであったり、カヌーであったり、最近のブームで言うとサウナであったり、他のアクティビティと組み合わせで行うような自由度がとても増えたのがこの第2次キャンプブームの特徴になっていると思います。

私が思いますのは、第1次ブームの時に多様性がなかったのはキャンプだけではないけれども、キャンプを楽しむという多様性がものすごく出てきているので、今、キャンプがブームではなくて、いろんなものとクロスオーバーで重なり合って、カルチャーのひとつとして認識されているのではないのかなと考えてい

ます。

少し字が小さくて見えづらくて申し訳ないですが、今のアウトドア関連需要として、インターネットで検索すると出てくる矢野研究所の「アウトドア用品の需要観測予測」のグラフです。一番右側のグラフが2025年までの需要予測になっています。ブームという山なりになって下がっていくものだと思いますが、こちらの研究所の需要予測では25年も徐々に下がりつつありますが横ばいを続けていることになりました。

右側のグラフですが、アウトドアショップの当店でも取り扱いをさせていただいています日本のキャンプ用品メーカー「スノーピーク」の経常利益と売り上げの推移になります。ご覧のとおり右肩上がりで登り調子の状態になっております。

それでは、皆様が一番気になっていると思われるのですが、三ツ輪商会のアウトドアのビジネスとしてどうなのかを少しだけお話させていただきます。

一昨年にMOOの1階にほとんどがキャンプ用品になるのですがアウトドアショップとして出店をして、認知度を上げることにいま努めています『E H A B(イーハブ)』という店舗です。このロゴ・E H A Bなのですが、イースト・北海道・アクティビティ・ベースの略で、ひがし北海道のアクティビティを広めていきたいという思いを込めて、お店・E H A Bを立ち上げさせていただきました。

現在の店舗ですが正直、物販の店舗としての儲けがほぼありません。今、赤字の状態が続いております。ただ、このようにメディアを含め新聞社各社さんも、店舗として拠点として出店させていただくことによって、それこそ観光事業の事業者さんから「ツアーの造成をアクティビティで行いたい」というお声掛けをいただいて、そういったイベント関連のお手伝い、ツアー造成のお手伝いをさせていただいております。

今、アクティビティに対するお手伝いでは、店舗があることによって認知度が高まって、そういうお仕事をいただけることで、相乗効果として成り立っているのではないかと考えています。また、店舗が拠点としてできたおかげで今回、「和琴のキャンプ場の譲渡を受けないか」という話を頂戴したのもこういった店舗展開で幅広く皆さまにお伝えができて、こういうご縁をいただけていると思っております。

去年の5月に事業継承を受けて、当社として運営開始した『和琴湖畔キャンプフィールド』ですが、それこそ、先月の5月で入場者数も単月で600人を超える程の事業になっております。ひとつは、人気になっているのは電動のボートをレンタルで運営しております。

一昨年10月に屈斜路湖畔は動力船の禁止規定がされて、ボート・カヌーとかでなければだめとなりました

たが、今まで事業として行っていた所には認可を出す
ということでした。環境省さんと手付きを進めて、今
年から電動ボードのレンタルが改めて再開できるよう
になりました。そのお陰もありまして、5月単月で
600人を超えました。入場料の数で数えています。今、
高校生以下は無料ですので子どもを入れると1000人
近くを超えるかなと思っています。

E H A Bは若干赤字なのですが、このキャンプ事業の
方はほぼ土地貸しという状態なので、粗利率で言うと
恐らく70%とか80%以上が取れるので、キャンプ事
業はこのままブームが去らずにカルチャーに育って
いって、人がどんどん入っていただければ店舗の赤字
もひっくり返せる事業になるのではないかなと考
えて、今いろいろと構想を立てて新しいこともでき
ればと思っています。

最後のページになりますが、今後の可能性として私
が考えているところです。やはり道東にいますと、国内
での値上がりや原材料高騰、電気代の高騰などで経済
が伸び悩んでいると感じるところも多いのですが、道
東にいる以上、しっかりと外貨を稼いでいかなければ
ならないと私は考えております。

ここにいろいろ書かせていただいています。いま
外貨を稼ぐ手段を、国を挙げて推進をしているという
感じを私は受けております。ここに列挙しているのが
そのチャンスを捉える要因としては、新型コロナの5
類相当化で人が外に出られるようになったのが一番大
きな要因となります。国の方でいろんな支援策を上げ
ていて、今年に入ってから旅行者の増加の話が出てく
るようになっております。店舗のあるMOOの近くにも
、海外からの大型客船の流入とか人の流れをすごく
今年から感じられるようになりました。

「A T W S」と皆さん読んでいるのですが、アドベン
チャートラベル・ワールドサミットといわれる世界各
国の旅行業の方が北海道に集まって北海道の魅力を伝
えるというサミット・A T W Sが今年の9月に北海道
で開催されます。その中で、北海道でサミットが終わ
った後、旅行業者たちが道内各地に飛んで旅行体験を
して行くこともあります。その旅行体験の中に釧路・道
東も含まれているツアーもあるそうです。

また、もうひとつは、私はSDGSの考え・文化ともア
ウトドアが合うもの



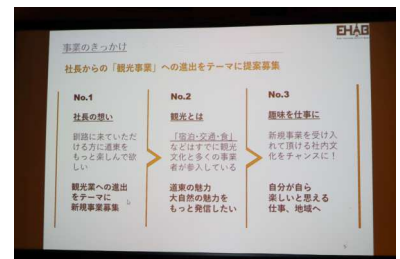
だと考えておりま
す。私が小さいころ
親にキャンプに連れ
て行ってもらって、
アウトドアを楽し
み、外のいろんな景

色を見ることで、自然って美しいものと思っ
てもらおう子どもがたくさん出てくれば、自然を守
りたいという気持ちになっていくものだと思います。
SDGSとして、

そういう教育にもつながるものだと考えております。
現在、道東の阿寒・摩周国立公園、釧路湿原を含むナ
ショナルパークをつなぐロングトレイル構想が環境省
で推進されております。釧路から羅臼までつなぐ
300 kmくらいのロングトレイルの道を作っていこう
と環境省さんの方で推進しております。このロング
トレイルによって海外のお客さま、長く滞在するお客
さまがたくさん出てきて、アウトドアもさらに広まっ
ていくと思っています。

最後に新聞の紙面にぎわせている川湯の温泉街で再投
資・開発が進みそうだという話があります。それこそ、
星野リゾートさんの進出が決定しているというニュー
スも出ています。そこも含めて道東というところで、
釧路と弟子屈町で私たちが運営しているキャンプ場周
辺をつないでもっと盛り上がり行けばいいと思っ
ています。

こういったことをとおして、私たちのE H A Bの展開
としては、キャン
プやアウトドアだ
けではなくて、釧
路に来ていただい
たお客様みんなに
楽しんでいただけ
る事業にしたい。
そのためにはアウ
トドア事業ではな
く



トドア事業ではなくて幅広く観光業として取り組んで
いきたいと思っています。店舗の方もいま、MOO
から出ている観光船のシークレインさんのチケットの
販売を手伝わせていただいたり、観光協会さんに入っ
ていただいてレンタサイクルを行っていたり、そうい
う観光業に対応できる店舗にしていきたいと思っ
ております。

キャンプ場の設備もキャンプをする方だけではなく
て、バンガローも置いてありますので温泉やサウナや
カヌーなど他のアクティビティもいろいろ組み合わせ
て、キャンプする方以外のお客さまの取り込みに注力
を置いて考えて行っている次第であります。

詳しい事業案内の資料を机の上に少し置かせていた
だきました。ご興味がありましたらお読みいただければ
と思います。また、置かせていただいたチラシにいろ
んなアウトドアギアを使ったファニチャーをオフィス
機器としても販売できればいいかと置かせていただ
いております。そこに載っている写真は三ツ輪商会の事
務所の中で撮った写真であります。そういったキャン
プ道具を使って少しオフィスを華やかにとか、新しい
アイデアが生まれる環境を作ったりして行きたいと
思っています。

とても拙い話だったと思います。ご清聴ありがとうござ
いました。

会長謝辞 滝越 康夫会長

講師におかれましては貴重なお話をありがとうございました。

さっき時計を見ながら知ったのですが、10分前から「終わりになりますが」という表現がありまして、話がどうも出しづらいなと自信がなかったことです。

キャンプは、私は過去に1～2回あるのですが、大自然の中に放り出されて、どうやって生き抜いていくかという非日常的で結構面白いと思います。私は日曜日の朝早いのですが、貴理子という女性が出る番組を見ていました。奥さんが家族連れで離島に行くとき、誰を優先して連れて行くか。一応、サバイバルの時になったらまず、奥さんから見て大事なのは子ども。そして実家の母、その次がペットで、「役立たない親父は要らないよ」ということで実感しました。普段、給料を持って来るからえぼっているけども、いざサバイバルで「料理は何を作るの」とかの問題からしたら全然役に立っていないことで自分を戒めております。

サバイバルになったら私、卵焼き・目玉焼きぐらいですかね。あと威張って「あれ作れ、これ作れ」と、なんでも「チーン」です。これを考えてみたら生き抜くノウハウは全くないので、ちょっと自信がありません。山登りで一緒にずっと歩いた私の友人ですが、この人はすごいです。家がいない感じしましたね。全部生き抜いていく、山も全部知っている、本当にアウトド

アが好きなのはたくましいと思っています。将来、大震災だとか大きなアクシデントがあった場合、電気も何もがない時には生き抜く力が最後のものになるのではないかと思ってその訓練のためにも、キャンプは家族の団結力にもつながります。

これからのひとつの商いというよりも、ひとつの産業ではないかなと思って、いい方向を三ツ輪商会さんは見つけたなと思っております。

先週、そこのテーブルで、三ツ輪商会の栗林延次さんと会ったら、一言「ええ、来週うちの会社がやるの。知らなかった」と言ひまして、今日、照れくさくて出てきたのではないかなど。そういうことで期待を持たれた部署だと思ひます。今後も頑張っていっていただきたいと思ひます。

いま日本はピークになっちゃって下がり気味です。で、生活の原点の見直しという面からも、よりメンタルリズムが良いと思うのでそこに自信を持ってご商売に励んでいただきたいと思ひます。以上でございます。

本日のニコニコ献金

- 邵 龍珍君 今年度、例会参加最後です。申し訳ございません。滝越会長、中島幹事、三役、理事の皆様、一年間お疲れさまでした。
- 村上 祐二君 本日最後の担当例会に参加叶わなく残念です。一年間ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度累計 419,000 円